

# 数 学

制限時間45分 60点満点

答えは、最も簡単な数または式にしない。また、 $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数にしない。ただし、円周率は $\pi$ としない。

前期

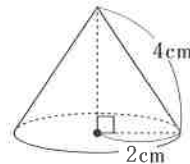
1 次の計算をしない。

- (1)  $3 - (-8) + 4$  (2)  $\frac{13}{2} - \frac{11}{3} - \frac{7}{6}$   
 (3)  $\sqrt{56} - \sqrt{2016}$  (4)  $(\sqrt{3} - \sqrt{2})(\sqrt{2} + \sqrt{3})$   
 (5)  $\frac{a^2bc^3}{2a} \div 4bc^2 \times \frac{8ab^2}{c}$  (6)  $(a+b)^2 - b^2$

2 次の  の中に当てはまる最も簡単な数または式を求めない。

- (1) 2次方程式  $3x^2 - 7x + 1 = 0$  を解くと  $x = \text{input}$  である。  
 (2)  $2xy + x - 4y - 2$  を因数分解すると  である。  
 (3)  $\frac{2x}{3} = \frac{3a}{2} + 1$  を  $a$  について解くと  $a = \text{input}$  である。

- (4) 半径 2cm の円を底面とする円錐が右図のようにある。母線の長さが 4cm であるとき、この立体の展開図において、底面以外の面積は   $\text{cm}^2$  である。



- (5) 関数  $y = -2x^2$  ( $-3 \leq x \leq 1$ ) において、( $y$  の値の最大値) - ( $y$  の値の最小値) の値は  である。

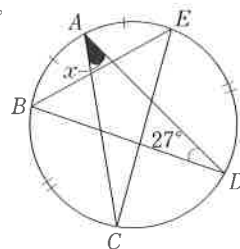
- (6) 1, 2, 3, 4 と書かれたカードが 1 枚ずつある。このうち 2 枚を並べて 2桁の整数を作るとき、偶数となる確率は  である。

- (7) 連立方程式  $\begin{cases} 3x + 5y = 1 \\ 5x + 3y = -9 \end{cases}$  を解くと  $x = \text{input}$ ,  $y = \text{input}$  である。

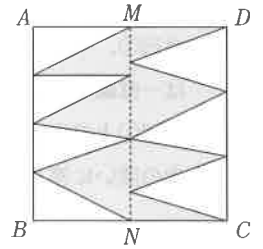
- (8) ある 4 人の生徒の数学の小テストの点数が 7 点, 4 点, 9 点, 6 点だった。このとき、このデータの中央値は  点である。

- (9) 次の (ア), (イ) について答えよ。

- (ア) 右図のように  $\widehat{AB} = \widehat{AE}$ ,  $\widehat{BC} = \widehat{DE}$  で、 $\widehat{AB} : \widehat{BC} = 1 : 2$  となるように点  $A, B, C, D, E$  をとる。 $\angle ADB = 27^\circ$  のとき、 $\angle x = \text{input}$  である。



- (イ) 1 辺の長さが 2cm の正方形  $ABCD$  において、辺  $AD$ ,  $BC$  の中点をそれぞれ  $M$ ,  $N$  とする。辺  $AB$  を 4 等分, 辺  $CD$  を 3 等分し, それらを底辺とする三角形を右の図のように 7 個作る。このとき、 の面積の総和は   $\text{cm}^2$  である。



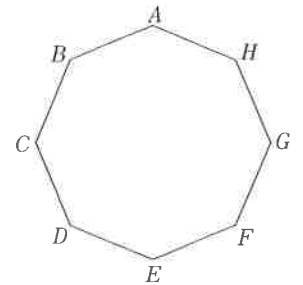
3 ある自然数  $n$  は

- $\begin{cases} 13 \text{ で割ると商が } x \text{ で余りが } 6 \cdots \textcircled{1} \\ 17 \text{ で割ると商が } y \text{ で余りが } 7 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$

である。このとき、次の問いに答えない。ただし、 $x, y$  は整数とする。

- (1)  $\textcircled{1}$  を  $n$  と  $x$  を用いて表すと  $n = \text{input ア} x + \text{input イ}$  となる。  
 ア,  イ に適する値をいれない。  
 (2)  $\textcircled{1}, \textcircled{2}$  より  $x$  と  $y$  の関係式は  $\text{input ウ} x - \text{input エ} y = 1 \cdots (*)$  となる。  
 ウ,  エ に適する値をいれない。  
 (3)  $(*)$  において、 $x$  が 1桁の自然数であるとき、 $n$  の値を求めない。

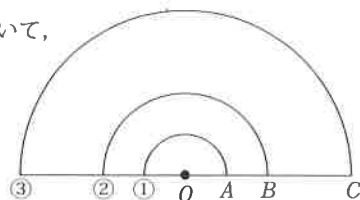
- 4 右図のような正八角形  $ABCDEFGH$  の点  $A$  に、点  $P$  がある。さいころを投げて出た目の数だけ反時計周りに点  $P$  を動かすものとする。この操作を繰り返すとき、次の問いに答えない。



【例】さいころを 1 回投げて、3 の目が出た場合点  $P$  は点  $D$  に移動する。

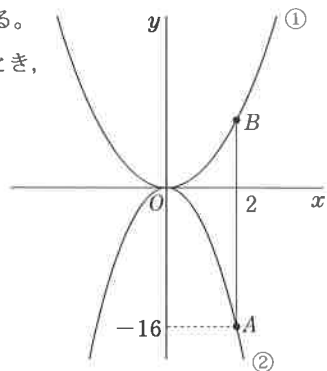
- (1) さいころを 8 回投げたうち、出た目は 1 が 2 回, 2 が 2 回, 5 が 4 回であった。このとき、点  $P$  はどの点にあるか求めない。  
 (2) 点  $P$  が 3 周して点  $A$  にあるためには、さいころを最低何回投げないといけないか求めない。  
 (3) 3 回さいころを投げて点  $P$  が点  $G$  にあるとき、出る可能性のある目の中で最大の目は何であるか求めない。ただし、点  $P$  は点  $A$  を通過しないものとする。

- 5 右図のように、点  $O$  を中心とする 3 つの半円があり、内側から順に半円①、半円②、半円③とする。それぞれの円上の点  $A$ 、 $B$ 、 $C$  と点  $O$  は一直線に並んでいる。 $OA = 1\text{cm}$ 、 $OB = 2\text{cm}$ 、 $OC = 4\text{cm}$  とする。半円①上の点  $P$ 、半円②上の点  $Q$ 、半円③上の点  $R$  について、次の問いに答えなさい。



- (1)  $\angle AOP = 60^\circ$  のとき、 $\widehat{AP}$  を求めなさい。
- (2)  $\angle AOP = 90^\circ$  で、 $\widehat{BQ} = \frac{2}{3}\widehat{AP}$  のとき、 $\angle BOQ$  を求めなさい。
- (3)  $\angle AOP = \angle BOQ = \angle COR = 60^\circ$  のとき、 $\widehat{AP} + \widehat{BQ} + \widehat{CR}$  を求めなさい。
- (4)  $\angle BOQ = \frac{1}{2}\angle AOP$  で、 $\angle COR = \frac{3}{4}\angle AOP$ 、さらに  $\widehat{AP} + \widehat{BQ} + \widehat{CR} = \frac{10}{3}\pi$  (cm) のとき、 $\angle AOP$  を求めなさい。

- 6 右図のように、関数  $y = ax^2 \dots$  ①、 $y = -4x^2 \dots$  ②がある。 $y$  軸と平行に線分  $AB$  を引く。②上に点  $A(2, -16)$  があるとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 点  $B$  の  $y$  座標を  $a$  を用いて表しなさい。
- (2) 線分  $AB$  と  $x$  軸との交点を  $C$  とすると、 $AC : CB = 2 : 1$  である。 $a$  の値を求めなさい。
- (3) (2) のとき、①上に点  $D$  をとり、 $\triangle BCD$  と  $\triangle OCD$  の面積比が  $2 : 1$  になるとする。このとき、点  $D$  の座標をすべて求めなさい。

# 解答用紙 (2017-2) (数学)

計 算 欄

<b>1</b>	(1)	(2)	(3)
	(4)	(5)	(6)

<b>2</b>	(1) $x =$	(2)	(3) $a =$
	(4)	$\text{cm}^2$	(6)
	(7) $x =$ , $y =$		(8)
	(9) ア $\angle x =$	イ	$\text{cm}^2$

<b>3</b>	(1) ア	イ	(2) ウ	エ
	(3) $n =$			

<b>4</b>	(1) 点	(2)	回	(3)

<b>5</b>	(1) $\widehat{AP} =$	$\text{cm}$	(2) $\angle BOQ =$	°
	(3) $\widehat{AP} + \widehat{BQ} + \widehat{CR} =$	$\text{cm}$	(4) $\angle AOP =$	°

<b>6</b>	(1)	(2) $a =$
	(3)	

受 験 番 号

--	--	--	--	--	--

得点合計	
------	--